

我が国の人口は、数年後にはピークに達しまして、その後はだんだんと減少していくだろうというふうに考えられています。つまり、それは労働力も減るということを意味しているのであります。

このようなことが予想される中、最近は、日本で働く外国人をよく見かけるようになりました。自分の家族のために、高い収入を求めてやってくる人が多いようであります。こういった事態をどのようにとらえるべきか、少し考えてみたいと思います。

確かに労働者が不足するということは、生産力が低下しますので、経済にも悪い影響を与えます。これを防止するための対策といたしましては、定年を延長することでありますとか、IT化によりまして生産性を向上させることなどが挙げられます。さらにまた、世界に目を向けてみますと、外国人労働者を受け入れるということも一つの解決策と言えるのではないのでしょうか。

これは決して悪いことではないと思います  
が、人材を送り出す側にとりましては、いい  
面ばかりではありません。遠いところに働き  
に行くことで家族が離れ離れになってしま  
まして、それが家庭の崩壊を招いていると言  
われております。また、個人の収入はふえま  
したが、その国の産業は育っていないのであ  
ります。日本で高度な技術を身につけて、母  
国の発展に貢献できるようなシステムをつ  
くることが必要だと思えます。